



大垣 照子 議員

質問

奥出雲椎茸倒産への対応は

町長

県の指導を仰ぎ対応する



事業承継予定の会社による奥出雲椎茸始動

質問 奥出雲椎茸の倒産に関し議会は、同社からの経営支援要請を受け都度、苦言を呈しつつ窮地救済のために、賛否両論の中で損失補償額8億9000万円や、令和3年12月から補助金約4億5000万円の拠出に協力してきたが、10億の負債を抱え倒産。町民の方々から「誰がこの負債を払うのか」

等の声をどう受け止め、応えるのか。本町行財政への悪影響と対応を問う。

町長 具体的には、破産管財人による手続の結果による。借入先の金融機関との相談や債券の平準化や県の指導を仰ぎ対応する。

質問 第三セクター等経営検討の方向性

は。

町長 三セクの独立採算に向け経営改善・事業統合等、戦略的な事業展開を進めたい。事業の縮小・統合・廃止等、厳しい決断も辞さない覚悟だ。今後の三セクの取り扱いを検討したい。

開発負担金時効、町民への影響について

質問 国営開発事業負担金時効問題について、町の損失負担への懸念がある。町民負担への影響は。

町長 負担金消滅時効成立により、町民に迷惑をかけた。納

付不可の金銭的な影響、完納者の不公平感があり、債権保全の負担金は、丁寧な説明とご理解をいただき納付に努めたい。時効後に納付された方には任意協力をお願いしたい。

併用体育館、管理運営について

質問 仁多地域の小学校体育館と町民体育館を併用としているが、管理運営はどこが担当するのか。

教育長 主目的は小学校の屋内運動場として建設。基本的には小学校が管理し、学校の教育活動に差し支えない範囲で一般に貸し出す。学校が対応する。

質問 体育館の建設に当っては、近隣の方々へ西日による反射と放射熱で生活に支障があり、設計・素材への工夫と対応は。

教育長 地域や三成以外の保護者の方々等広く意見をいただき、素材や子どもたちに夢のある施設に最大限配慮し、業者も含め検討したい。



統合小学校用地、三成小体育大会（6月3日）